斎藤真一 越後瞽女日記の世界

斎藤真一「佐久の旦那（越後瞽女日記）」 油彩　1969 年　上越市立総合博物館所蔵

2015年 11月14日(土)～12月14日(月)

南魚沼市 **池田記念美術館**

http://www.ikedaart.jp
TEL 025-780-4080/FAX 025-777-3815
新潟県南魚沼市浦佐 5493-3 八色の森公園内
上越新幹線浦佐駅より徒歩 15 分
関越自動車道大和スマート IC より車 3 分

休館日:毎週水曜日

入 館 料：大人 500 円、高校生以下無料
（企画展・常設展含む）
開館時間：午前 9 時～午後 5 時
※入館は閉館の 30 分前まで
※最終日は午後 3 時閉館

斎藤真一 「三人瞽女（越後瞽女日記）」油彩　1972 年
上越市立総合博物館所蔵

斎藤真一
越後瞽女日記の世界

三味線を手に、唄をうたい、一年の大半を旅に暮らした目の不自由な瞽女たちの喜びや悲しみを描いた画家、斎藤真一は、頸城の山里や信州の瞽女宿を訪ね歩き、カンバスの上に、瞽女の人間絵図を 10 年以上にわたって記録しました。今回の展覧会では、上越市立総合博物館所蔵の油彩画を中心に、越後瞽女日記の原画、絵巻など約 50 点を展示します。併せて、斎藤真一の原画を使用した書籍やレコードジャケット、高田瞽女の写真、三味線などの関連資料も紹介します。

斎藤真一 「お春の死 お春の恋唄（越後瞽女日記 お春瞽女物語り）」油彩　1977 年
ギャラリー朱雀院所蔵

斎藤真一 「瞽女歌（越後瞽女日記）」
ペン・水彩彩色　1970 年頃
ギャラリー朱雀院所蔵

■斎藤真一略歴

1922 年岡山県児島郡味野町（現倉敷市児島味野）生まれ。
東京美術学校卒業。中学・高校教諭を務めながら制作をつづける。1959 年フランスに留学。留学中、ヨーロッパ各地を放浪、藤田嗣治と親交を得る。帰国後、津軽、越後を旅し、瞽女を知り、高田の杉本キクイに出会う。瞽女を記録し、『越後瞽女日記』など連作を続ける。また、吉原の遊女をテーマに作品を発表。1985 年『明治吉原細見記』『絵草子 吉原炎上』を出版し、映画や舞台で上演される。その後も郷愁を求めて渡欧し、“昭和ロマン”“哀愁の街角”などのシリーズ制作を続けたが、1994 年 9 月 72 歳で逝去。

～ 関連イベント ～

参加費：入館料（一般 500 円）が必要です

金澤 碧
かなざわ　みどり

ひとり、かたり

11 月 14 日（土）午後 3 時～

プロフィール

1975 年、TV ドラマ「北都物語」でデビュー。その後「俺たちの旅」等に出演。近年は、舞台出演、ラジオドラマ、朗読などで活躍。ガラス作家としても活動をしている。

画家であり、エッセイストであった斎藤真一が描いてきた世界を朗読と映像で表現します。異国をさすらい、雪国の瞽女に魅せられた斎藤のエッセイを、女優・金澤碧が朗読します。

11 月 22 日（日）

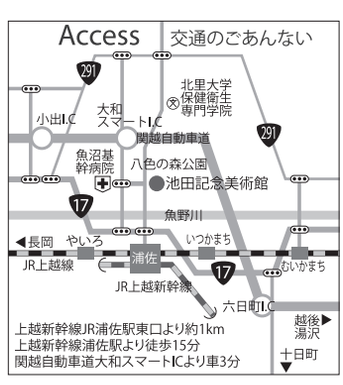
作品解説と瞽女唄ミニコンサート

午後 3 時～

斎藤真一コレクターの池田敏章氏による作品解説と、月岡祐紀子さんの瞽女唄のミニコンサートです。

南魚沼市
池田記念美術館

http://www.ikedaart.jp
TEL 025-780-4080/
FAX 025-777-3815
新潟県南魚沼市浦佐 5493-3

入館料　大人 500 円、高校生以下無料（企画展・常設展含む）

開館時間　午前 9 時～午後 5 時
※入館は閉館の 30 分前まで
※最終日は午後 3 時閉館